

公益社団法人私立大学情報教育協会
2019年度情報セキュリティ合同会議議事記録
第2回情報セキュリティ研究講習会運営委員会
第1回情報セキュリティ対策問題研究小委員会

- I. 日 時：令和2年3月9日（月） 10：00～12：00
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
III. 参加者：宮川委員長、中嶋副委員長、中田委員、鈴木委員、服部委員、峰内委員、向井委員、
西松委員、浜アドバイザー(Skype)、市川アドバイザー、菊池委員、松坂アドバイザー
岩本アドバイザー(Skype)
(事務局) 井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. 今年度研究講習会の振り返りと次年度取組みの意見交換について、参加者アンケートを確認し、以下のような意見があった。
- ・ 文科省の情報セキュリティ対策強化通達では、私立大学にはトップのリーダーシップを強調していないのか、各法人の実態に応じた対策実施として組織・体制整備が求められている。
 - ・ 開催時期・期間は、研修に派遣する立場では2日間フルに学んで欲しい考えがある。また、時期は、他のイベントとの重複が関連するのではないか。
 - ・ 開催要項は、早めに発行するか、場合によっては日程だけでも先に提示すべきではないか。
 - ・ 大学の状況に合わせた内容にしてほしいとの意見があったが、グループワークについては、ベンチマーク整備状況により今回はグループの組み合わせを考え、評価は良かったように思う。ただし、全体会の内容について、何かの区分で分けるのは難しいと考える。
 - ・ 全体会から、政策運営コースへのつなぎ方は、良かったように感じた。
 - ・ 例年の課題だが、テクニカル部分では難易度別の対応は難しい。
 - ・ インシデント分析コースでは、自大学の環境ではできないことを体験できたことでサイバー攻撃の理解が進んだ。演習は、全体的なインシデント対応のどの段階なのか分かりにくかったか、全体を通じてのコースストーリーが設定されていればより理解が進んだと思う。また、実施については、演習環境の提供と準備が例年課題である。
 - ・ 情報資産の洗い出しでは、大学に戻って使えるところを提供できたが、作成からリスク分析までの工程は理解するのに盛り込み過ぎたように感じた。
 - ・ 課題として、大学、行政、それぞれの責任と協力体制をどのようにするのか、個人情報保護など関連法律の理解、ビッグデータの対応等に関して意見があった。
2. 情報セキュリティ関連情報プラットフォームの整備について
- ・ 講習会資料を、コース関連で項目立てし、階層ページで整理する案が提示された。また、関連情報や賛助会員主催の研修情報を掲載する提案がされた。
 - ・ インシデントの届出先情報は掲載するが、複合的な問題など相談できる窓口の希望があり、対応先があれば掲載を検討する。
 - ・ 資料の掲載順（分け方）は、予防・初動・届出などの対応で今後整理を検討してはどうか。

V. 次回のスケジュール

次年度に運営委員会を開催し、開催要項作成に向けた検討を開始することになっている。